指定管理者評価シート

事業名	ジャンプ競技場等運営管理費	所管課（電話番号）	スポーツ局スポーツ部施設課（211-3045）

Ⅰ　基本情報

1　施設の概要			
名称	札幌市大倉山ジャンプ競技場	所在地	中央区宮の森
開設時期	昭和45年12月（平成11年12月改修）	延床面積	8658.19㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深め、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ラージヒルジャンプ台、運営本部棟、ミュージアム棟、スタートハウス棟、エスカレーター棟、審判棟		
名称	札幌市宮の森ジャンプ競技場	所在地	中央区宮の森1条18丁目
開設時期	昭和45年12月（平成17年改修）	延床面積	664.31㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深め、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ノーマルヒルジャンプ台、特殊索道、運営本部		
名称	札幌市荒井山シャンツェ	所在地	中央区宮の森
開設時期	平成15年11月	延床面積	254.78㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深めるとともに、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ミディアムヒルジャンプ台、スモールヒルジャンプ台、スロープカー、ロッジ、審判棟、スロープカー車庫		
名称	札幌オリンピックミュージアム	所在地	中央区宮の森
開設時期	平成12年4月	延床面積	5034.43㎡
目的	オリンピック及びパラリンピックの歴史と価値並びに冬季オリンピック開催都市としての栄誉と功績を後世に継承するとともに、広くウィンタースポーツに関する興味と理解を深める機会を提供し、もってオリンピック及びパラリンピックの理念を広く伝えるとともに、ウィンタースポーツの普及振興に寄与する		
事業概要	(1)オリンピック及びパラリンピック、冬季オリンピック札幌大会等本市で開催されたウィンタースポーツの国際大会並びにウィンタースポーツに関する資料の収集、保管及び展示 (2)オリンピック及びパラリンピック並びにウィンタースポーツに関する資料の収集、保管及び展示 (3)ウィンタースポーツの疑似体験装置の展示 (4)その他ミュージアムの設置目的を達成するために必要な事業		
主要施設	展示ゾーン、体感・体験ゾーン、競技情報ゾーン、ウィンタースポーツシアター、多目的ホール、ライブラリー		

2　指定管理者	
名称	株式会社　札幌振興公社
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
募集方法	公募 非公募の場合、その理由：
指定単位	施設数：4 複数施設を一括指定の場合、その理由：ジャンプ場は競技ランク（ラージ、ノーマルなど）別に整備しているが、利用調整などは一体で行う必要がある。また、ミュージアムについては大倉山再整備計画により建設された関連施設であり、利用のされ方なども一体不可分の要素が高い。

業務の範囲	【ジャンプ競技場】 (1)施設の維持及び管理 (2)施設を使用に供すること (3)ジャンプ場条例第1条に規定する設置の目的を達成するために必要な事業 (4)使用承認等に関すること (5)大型映像車の運行に関すること (6)上記各業務に付随する業務 【ミュージアム】 (1)施設の維持及び管理 (2)ミュージアム条例第2条各号に掲げる事業の計画及び実施 (3)ミュージアム条例第13条に掲げる資料の貸出し (4)使用承認等に関すること (5)上記各業務に付随する業務
3 評価単位	施設数:4 複数施設を一括評価の場合、その理由:同一の管理主体が管理を行っており、ひとつの基準で管理を行っているため

Ⅱ 平成30年度管理業務等の検証

項 目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1)統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 札幌市ｼﾞｬﾝﾌﾟ競技場等の設置目的、目指す成果を踏まえ、また平成18年から10年を超える指定管理者としての経験を活かし、管理運営業務に関する基本方針を策定した。 ▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 仕様書に基づき施設等の利用に関する業務については、庶務係を窓口として適正かつ平等に遂行した。	管理方針に基づき、ｼﾞｬﾝﾌﾟ競技への関心及び競技力の向上やｳｨﾝﾀｰｽﾎﾟｰﾂの普及と振興に努めた。	A B C D 管理運営方針に基づいて業務を適正に遂行している。 環境配慮についても継続して取り組んでおり、評価できる。
	▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 平成19年5月にHES(北海道環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ)を認証し、当社で管理する施設や様々なｻｰﾋﾞｽ等から発生する環境に関わる影響を低減するため継続して環境改善活動に取組んでいる。 項 目 / 目標値 / 実績値 / 達成率 電気使用量の削減 / 1,185,190 / 1,242,189 / 95% 水使用量の削減 / 14,720 / 13,770 / 107% ｶﾞｿﾘﾝ・軽油使用量の削減 / 3,928 / 3,656 / 107% 事務用紙使用量の削減 / 111,720 / 85,000 / 131%	各社員が環境への配慮を意識して取組んだ。H30年度はｼﾞｬﾝﾌﾟ台の改修工事があったこともあり、夏の練習等の利用ができなかったことから、それに比例し水の使用料も減少し、目標を達成することができた。なお、今年度は、ｶﾞｿﾘﾝ使用量、事務所用紙使用量についても目標を超える実績となった。今後も目標達成に向け継続して削減に努めていきたい。	
	▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成) 統括責任者を事業課長と定め、管理運営業務を統括し業務の適正・効率化を図った。 計画書に基づいた人員配置に努め、欠員が生じた場合は新規採用により人員を確保した。 教育・研修計画に基づき研修等を実施した。 AED取扱いを含めた普通救命講習を実施し救急事態での対応に備えた。	計画に沿った組織体制を整えられるよう、欠員等が生じた場合は人事異動や新規採用により適正な社員配置に努めた。また、法令を遵守しよりよい雇用環境を確保した。	職員配置についても計画書に基づいた人員配置を行っており、研修等を実施することでサービス水準の維持向上に努めていると言える。

<table>
<tr><td></td><td>▽　管理水準の維持向上に向けた取組
職場ﾐｰﾃｨﾝｸﾞを適宜行い、業務の問題点や改善・ｻｰﾋﾞｽの向上等について意識の統一や情報の共有に努めた。</td><td>今後も社員全員で更なるｻｰﾋﾞｽ向上を目指し、ﾐｰﾃｨﾝｸﾞ等の中で問題の改善に努めていきたい。</td><td rowspan="6">また、札幌市や関係団体との協議についても定期的に実施し、問題点の共有、改善に向けて努力している。
特に、利用者の代表となる競技団体との調整は重要であるが、適切に対応を行っている。</td></tr>
<tr><td></td><td>▽　第三者に対する委託業務等の管理（業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認）
軽微なものを除き計画に基づき適正な業務委託を行った。
また、委託先への適切な指示、連絡等により、仕様書に基づいて適正かつ確実に業務が遂行された。</td><td>業務計画に沿って適正な再委託を行った。</td></tr>
<tr><td></td><td>▽　札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）
<table>
<tr><td>開催日</td><td>協議・報告内容</td></tr>
<tr><td>4/24</td><td>荒井山ｼｬﾝﾂｪ利用者連絡協議会</td></tr>
<tr><td colspan="2">＜協議会ﾒﾝﾊﾞｰ＞
札幌市ｽﾎﾟｰﾂ部、札幌ｽｷｰ連盟理事、
札幌ｼﾞｬﾝﾌﾟ少年団役員、大倉山事業部担当者</td></tr>
<tr><td>7/11</td><td>第1回札幌市ｼﾞｬﾝﾌﾟ競技場等協議会
4月～6月までの業務報告（施設利用状況等について）</td></tr>
<tr><td>11/27</td><td>第2回札幌市ｼﾞｬﾝﾌﾟ競技場等運営協議会
7月～9月までの業務報告（施設利用状況等について）</td></tr>
<tr><td>1/24</td><td>第3回札幌市ｼﾞｬﾝﾌﾟ競技場等運営協議会
10月～12月までの業務報告（施設利用状況等について）</td></tr>
<tr><td>3/14</td><td>第4回札幌市ｼﾞｬﾝﾌﾟ競技場等運営協議会
1月～3月までの業務報告（施設利用状況等について）</td></tr>
<tr><td colspan="2">＜協議会ﾒﾝﾊﾞｰ＞
札幌市ｽﾎﾟｰﾂ部及び大倉山事業部担当者</td></tr>
</table></td><td>協議会開催計画に基づき行い、情報の共有や問題の改善に積極的に取組んだ。
次年度以降も関係機関と連携を図り、円滑な運営に努めていきたい。</td></tr>
<tr><td></td><td>▽　財務（資金管理、現金の適正管理）
指定管理業務と他事業の経費を明確に区別し、社内外からの監査を受け適正に管理している。
現金管理責任者を定め管理ﾁｬｰﾄに基づいた、取扱い・保管を行い、適正に現金・金券等を管理している。</td><td>適正かつ明確に資金や現金管理の徹底に努めた。</td></tr>
<tr><td></td><td>▽　要望・苦情対応
利用者、その他市民からの意見、要望を受けた場合は誠意をもって対応している。
指定管理業務と関わりのない市政に関する要望等については、札幌市へ速やかに報告している。</td><td>お客様からの意見・要望については、可能な限り対応しｻｰﾋﾞｽ向上に反映した。</td><td rowspan="2">要望等については、来場者のアンケートのみならず、連絡調整会議等の機会において競技利用者の声を聴取し、出来る限りの対応を行っている。</td></tr>
<tr><td></td><td>▽　記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施）
ｱﾝｹｰﾄの結果を受けて、意見や要望を検証し、管理運営の改善に反映させている。
ｼﾞｬﾝﾌﾟ競技関係先からの要望や意見を受けて、対応するように努めた。
札幌市の検査依頼、報告事項等については、速やかに対応した。</td><td>過年度の事象の実施状況や経緯・経過を分析・検証するなどして、的確・迅速な対応に努めた。</td></tr>
</table>

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽　労働関係法令遵守、雇用環境維持向上 就業規則、勤務時間を順守し、時間外労働にあたっては36協定での取決めを定め届出をした。 雇用にあたっては社会保険、労働保険への加入を行い必要に応じ届出をした。 全ての社員に対し1年に1回の定期健康診断の受診を実施した。 なお、労働基準監督署からの指導等は受けていない。	適切な労務管理に努めた。	A B C D 法令を遵守し、雇用環境の維持向上に努めていると評価できる。
(3)施設・設備等の維持管理業務	▽　総括的事項（利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入） 利用者の安全確保については、施設の巡回警備による安全確認や職員の巡回により危険箇所の早期発見に努めた。 施設賠償保険の他、各種ｲﾍﾞﾝﾄ時は参加者等の万が一の怪我、事故に備え別途傷害保険に加入している。 また、事故や急病人の発生に備えて、各施設（4施設）に設置したAEDの点検等を行うとともに、その使用についてAED講習 も実施した。（4月） 平成17年6月に定めた「個人情報の保護に関する方針」に基づき、細心の注意を払って、保有する個人情報の保護に努めた。 拾得物等の取扱いについては、適正に対処した。 連絡体制の確保については、各施設へ必要な連絡先を掲示した。 また、緊急時連絡先を事務部内に掲示し緊急時に備えた。	計画に沿った管理運営の中で、個人情報の保護や管理施設にAEDを設置するなど、今後も慎重かつ安心・安全な施設運営を構築していきたい。	A B C D 計画に沿い、適正な施設の維持管理を行い、利用者の安全管理にも十分配慮している。 また、防災や危機管理対策についても、緊急時への備えを整え、災害等を想定した訓練についても適切に行っている。
	▽　施設・設備等の維持管理（清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等） 施設及び設備の全般の機能を良好に維持するため、札幌市ジャンプ競技場等管理運営業務仕様書に基づいて作成した業務計画書のとおり適切に業務を遂行した。 なお、軽微なものを除いた特殊性のある業務については再委託計画に基づき業務委託した。 ※委託業務の内容については、別紙1のとおり	業務計画書に沿った適正な施設・設備の維持管理に努めた。次年度以降も継続して関係各所と連携の下、業務を遂行していきたい。	
	▽　防災 防災計画を策定し、計画に基づいた消火、避難誘導訓練を消防設備関連業者指導の下実施した。（8月・2月） 災害や機械故障を想定し、索道救助訓練を実施した。（5月）	今後も防災計画に基づき安全・危機管理対策に努めていきたい。また、社員の更なる防災意識を高めるような訓練を実施していきたい。	

(4)事業の計画・実施業務	▽　オリンピックパラリンピック及びウィンタースポーツの普及振興、調査研究に関する業務 ①自主研修の場の提供（481校来場） ②教育普及活動（特別展示4回、ｲﾍﾞﾝﾄ9回） ③実習の受け入れ(職場体験：中学校1校・実習：大学1校） ④常設展示 2階と1階のｵﾘﾝﾋﾟｱﾝの用具の入替え伴い、2階展示ｺｰﾅｰの展示内容・ﾚｲｱｳﾄ等の変更を行った。（ﾕﾆﾌｫｰﾑ追加・新ｺｰﾅｰｱｲｽﾎｯｹｰ女子日本代表ｺｰﾅｰ設置） ⑤校外学習（小学校15校、中学校7校、大学4校で実施） ⑥ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ・ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸ教育 今年度から、札幌市教育委員会のｵﾘ・ﾊﾟﾗ教育推進事業の研究校に指定された45校（昨年度30校）を対象に、ｵﾘ・ﾊﾟﾗ教育を実施した。実施にあたって、ﾐｭｰｼﾞｱﾑの阿部名誉館長や、北海道ｵｰﾙｵﾘﾝﾋﾟｱﾝｽﾞから紹介を受けて、ｵﾘﾝﾋﾟｱﾝ・ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｱﾝに講師を依頼し、個別に講演内容について調整を行うことで、競技種別ごとの特長等を活かした授業となるように努めた。また、各学校とは、児童の学年や地域等によって、授業内容を事前に教諭と調整し、児童の興味を湧かせ、より理解を深める授業になるように努めた。 ⑦収蔵品ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ化 （展示物･収蔵品の調査ﾃﾞｰﾀを84件追加登録。 現在14,071件を登録） ⑧収蔵品の収集・調査・研究・展示 ･冬季ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ札幌大会関連資料の収集および調査・研究・展示 ・オリンピアンの用具収集・展示（ﾛｺｿﾗｰﾚ、足立友里恵さん、藤本那菜さん） ⑨地下歩行空間・学芸員出張イベント 7月と3月に札幌市地下歩行空間にて札幌市との共催ｲﾍﾞﾝﾄを実施、7月は東京2020ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ・ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸ2年前ｲﾍﾞﾝﾄ、3月には、札幌ｵﾘﾝﾋﾟｯｸﾃｰﾏ曲「虹と雪のﾊﾞﾗｰﾄﾞ」ｱﾚﾝｼﾞ披露ｲﾍﾞﾝﾄで映像等を上映した。 ⑨OMN総会出席 9月にｽｳｪｰﾃﾞﾝで行われたOMN総会に出席し、4つのﾜｰｷﾝｸﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ（巡回展、ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ教育、展示収集、ｵﾘﾝﾋﾟｯｸﾃﾞｰ）に出席し、それぞれについて当館現状と情報交換を行った。 ⑩ｵﾘ・ﾊﾟﾗ教育検討委員会参加 上記検討委員会ﾒﾝﾊﾞｰとして、昨年度に引き続きｵﾘ・ﾊﾟﾗ教育副教材・実践事例集の作成に協力を行った。 ⑪ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの実施 昨年度同様、来館者の満足度向上を目的として新たなｵﾘ・ﾊﾟﾗ競技(ﾌﾛｱｶｰﾘﾝｸﾞ・ﾎﾞｯﾁｬ）体験の実施を行った。 ※調査研究に関する内容については、**別紙2**のとおり	概ね業務計画に沿って実施した。 H30年度は、ｵﾘﾝﾋﾟｯｸﾃﾞｰにﾛｺ・ｿﾗｰﾚの本橋麻里選手をｹﾞｽﾄとしてお招きしﾄｰｸｼｮｰやﾌﾛｱｰｶｰﾘﾝｸﾞの講習等を実施し、集客に努めた。 昨年度から開始したｵﾘﾝﾋﾟｯｸ・ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸ教育は昨年の30校から45校に受入を拡大し実施をした。講師として招いたｵﾘﾝﾋﾟｱﾝ・ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｱﾝと講演内容の調整やｽﾗｲﾄﾞの作成を行うとともに、各学校からの希望に合わせた学習となるよう、教諭とも密に連絡をとるようにし、好評価を得た。 次年度以降については、新設される日本ｵﾘﾝﾋﾟｯｸﾐｭｰｼﾞｱﾑ等との連携を深めることで、より広くｵﾘﾝﾋﾟｽﾞﾑの理念を市民に伝え、札幌のｵﾘﾝﾋﾟｯｸ招致に向けた機運醸成につなげるよう努めたい。	A	B	C	D 札幌オリンピックミュージアムを運営する中で、来館者へのオリンピックの理念を伝えたほか、オリンピアン・パラリンピアンを講師に招き、講演を行っている。 ウィンタースポーツの普及振興だけでなく、収蔵品の調査・研究等にも積極的に取り組んでいる。 また、リニューアルを機に始まったオリ・パラ教育では、授業内容を最適化するため、講師や学校と事前に調整を行い、学習効果が上がるような工夫に努めている。このほか、OMN加盟を機に、総会及びワークショップに参加し、海外のミュージアムにも活動内容を伝え、評価を得ている。

▽　その他ジャンプ競技場等の設置目的を達成するために必要な業務

競技関係者や地域住民と連携を図り、市民参加型のｲﾍﾞﾝﾄの実施やｻｰﾋﾞｽに努めた。
また、ｲﾍﾞﾝﾄ・会議・展示会場として、競技場施設やﾐｭｰｼﾞｱﾑ、大型映像車の利用についてHP等への掲載等を行った他、地域町内会等へも周知し利用促進に努めた。
文科省より受託しているﾅｼｮﾅﾙﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰ競技別強化拠点施設活用事業（NTC）では、NTC施設として競技団体の要望を取り入れ環境の整備に努めた。

ｼﾞｬﾝﾌﾟ競技の普及や向上、施設への来場促進に努めた。
NTC事業においても関係団体と連携を図り、ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ環境、情報医科学環境を構築し、競技力の向上に向けて業務を遂行していきたい。

個別の利用者や競技団体のトレーニング環境としての受け入れに加え、NTC事業についても、競技団体と連携を取りながら、ジャンプ競技場の拠点施設とし取り組みを継続している。

(5)施設利用に関する業務

区分		H29実績	H30計画	H30決算
大倉山ジャンプ競技場				
	競技利用者	961	1,200	385
	競技利用回数	60	60	19
	大会・公式	16	19	18
	その他催物	6	3	2
	本部棟会議室	42	20	23
	ﾃﾚﾋﾞ中継装置	6	8	10
	来場者	446,987	427,000	401,574
宮の森ジャンプ競技場				
	競技利用者	3,080	3,000	2,236
	競技利用回数	142	124	95
	大会・公式	12	12	16
	来場者	27,016	30,000	16,476
荒井山シャンツェ				
	競技利用者	2,022	2,800	2,591
オリンピックミュージアム				
	有料観覧者	80,450	53,700	84,915
	無料観覧者	38,185	30,300	42,170
	観覧者合計	118,635	84,000	127,085
	多目的ﾎｰﾙ	1	8	0
大型映像車				
	利用回数	43	30	32

▽　不承認0件、 取消し0件、 減免67件、 還付0件

施設の利用に関する業務については、庶務係を窓口として適正かつ平等に遂行した。
また、施設利用の申し込み者が重複した場合の平等性を保つための調整会議メンバーを定めた。
※ジャンプ競技場等の利用状況等については、**別紙3**のとおり

▽　利用促進の取組

ｲﾍﾞﾝﾄ・会議・展示会場として競技場施設やﾐｭｰｼﾞｱﾑ、大型映像車の利用についてHP掲載や地域町内会等への案内等を行った。
例年、自主事業の中で7月～10月の毎週金・土・日曜日はｼﾞｬﾝﾌﾟ練習でのｼﾞｬﾝﾌﾟ台使用料を無料にしていたが、今年度はジャンプ台の改修工事により未実施の為、来年度以降は引き続き実施し、競技利用者（選手）のﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ促進に努めます。

H30年度は、大倉山はｼﾞｬﾝﾌﾟ台の嵩上げ工事を5月～10月に実施していたことから競技利用者数は減少した。また、9月には北海道胆振東部地震を受け、営業は4日間の休業と短期間で再開することができたが、その影響もあり来場者については昨年度と比較し大きく減少する結果となった。
一方、ミュージアムについては上期が非常に好調に推移したこともあり、地震の影響をうけたものの昨年度対比7%増と良好な実績となった。
また今年度は8月に大倉山が日本夜景遺産に認定されことから、リフトの夜間営業を実施し、施設としての新たな魅力の発信と利用者の促進に努めた。

A　B　C　D

競技利用者数について、競技団体の要望に応えて体制を充実させて対応し、高い評価を得ることができた。
また、ミュージアムについては、平昌オリンピック・パラリンピックによって注目されたあとも利用者の増加傾向を継続させ、積極的に大倉山全体の魅力を発信することで、利用促進を行っており、来場者の増加に繋がったと評価できる。

(6)付随業務	▽　広報業務 当社HPにｲﾍﾞﾝﾄ情報やｼﾞｬﾝﾌﾟに関する情報の掲載の他、H27年度より開設したSNS(ﾌｪｲｽﾌﾞｯｸに加え今年度からはｲﾝｽﾀｸﾞﾗﾑも使用)により情報発信の幅を広げた。 市内観光施設･ﾎﾃﾙ等へのﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ設置、ﾎﾟｽﾀｰの掲示を依頼したり、ｲﾍﾞﾝﾄ時には大倉周辺町内会や店舗にﾁﾗｼの配布等を行い、施設PRと利用促進に努めました。 HP上では、問い合わせ専用のﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを使用し、利用者からの問い合わせ等に対応した。 HPのｳｪﾌﾞｱｸｾｼﾋﾞﾘﾃｨへの取組 昨年度開設したOMNへの加盟を機に、札幌ｵﾘﾝﾋﾟｯｸﾐｭｰｼﾞｱﾑの専用HPについてｳｪﾌﾞｱｸｾｼﾋﾞﾘﾃｨに対応する仕様に変更し、2019年3月25日取組確認を実施し、同日に公開した。	HPやSNS上にﾀｲﾑﾘｰな情報を掲載することができた。 また誰もが利用しやすいHP(ｳｪﾌﾞｱｸｾｼﾋﾞﾘﾃｨへの対応)となるよう整備を実施した。 今後は、引き続きﾎﾃﾙや周辺町内会にも協力を仰ぎ広報業務に努めていきたい。	A　B　C　D ホームページやSNSを有効活用し、観光施設としてのPRに努めている。 また、周辺町内会や店舗へのチラシ配布等、地元住民への広報活動も継続して取り組んでいる。 また、新たに開設したミュージアムの専用HPは、単なる施設の案内にとどまらず、オリ・パラ教育の予習復習にも活用できる内容として整備されている。
	▽　引継ぎ業務 前回から継続指定のため、引継ぎ業務はなし。	引き継ぎ業務はなし。	

2　自主事業その他

▽　自主事業 ジャンプ競技場、ミュージアムの活用 〇山頂展望台ｽﾀｰﾄ地点の開放 普段は入場することのできないｼﾞｬﾝﾌﾟ台のｽﾀｰﾄ地点を一般開放し、ｼﾞｬﾝﾌﾟ台の迫力と眺望体験を実施した。 (①GW期間(4/28～5/6)、②夏休み期間中(7/27～8/2、8/10～8/15) 〇SAPPORO CITY JAZZ 協賛ライブ 大倉山に植栽しているﾗﾍﾞﾝﾀﾞｰ開花に併せて「PARK JAZZ LIVE in 大倉山ﾗﾍﾞﾝﾀﾞｰｽﾃｰｼﾞ」と題して競技場内噴水付近へのステージを設置しｼﾞｬｽﾞﾗｲﾌﾞを開催し、施設の魅力発信に努めた。 〇展望台リフト特別夜間営業の実施 日本夜景遺産に選ばれた大倉山から夜景を楽しんでもらうべく、期間限定で、展望台リフトの特別夜間営業を実施。スタート台の開放と併せて夜景観賞士による夜景解説を行うといった取組を昨年度に引き続き行った。 ※7/27～8/2、8/10/～8/15、11/9、11/10、11/16、11/17に実施 利用者数(期間合計) 1,111名 〇「ｳｨﾝﾀｰｽﾎﾟｰﾂﾌｪｽﾀin大倉山」の実施 さっぽろ雪まつり開催にあわせ市民及び観光客へｼﾞｬﾝﾌﾟ台を活用した様々な体験を通して「冬の北海道」の楽しみ方とｳｨﾝﾀｰｽﾎﾟｰﾂへの関心と普及に努め、さらに地域振興や大倉山施設の周知と情報発信を目的とし札幌市中央区と共催した。ｳｨﾝﾀｰｽﾎﾟｰﾂ各種の体験などを、北翔大学・札幌聖心女子学院高等学校・町内会などﾎﾞﾗﾝﾃｨｱの協力を得て実施した。 来場者　1,917名 ※集客イベント等に係る内容については、**別紙4**のとおり	平成20年度より実施しているｳｨﾝﾀｰｽﾎﾟｰﾂﾌｪｽﾀin大倉山をはじめ、ｻｯﾎﾟﾛｼﾃｨｼﾞｬｽﾞ協賛ﾗｲﾌﾞ等の大型ｲﾍﾞﾝﾄの他、山頂展望台ｽﾀｰﾄ地点の開放やﾘﾌﾄの夜間営業も実施し、大倉山の魅力を発信や施設のPRに努めた。 今後は大倉山のジャンプ競技場と観光施設両方の魅力を活かした自主事業を新たに実施して参りたい。	A　B　C　D 昨年度好評であった山頂展望台スタート地点の開放イベントを引き続き実施するともに、1年を通じた施設の魅力アピールに努めたものと評価できる。 また、夜景遺産の認定に合わせてリフトの夜間営業を行うなど、新たな施設の魅力の開発を進めている。 今後も大倉山のジャンプ競技場と観光施設両方の魅力を活かした自主事業を実施することに期待する。

▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 再委託、物品の購入等については、市内の企業を原則として活用し、一部印刷物においては、福祉関連業者へ発注した。 また、警備係員として障がい者１名を雇用している。		特殊性等を考慮しながら、可能な範囲で市内企業の活用に努めた。	
3 利用者の満足度			
▽ 利用者アンケートの結果		利用者からの意見等は全体で共有し、利用者のﾆｰｽﾞの把握及び改善に努めた。今後も引き続き利用者からの意見を検証反映し、より良い施設運営を目指す。	A B C D 昨年度の課題であった接客満足度が大幅に改善しており、利用者への丁寧な応対の結果と評価できる。また総合満足度も、昨年度より改善し、非常に高い水準になったと言える。
実施方法	実施時期は4月～3月で展望ﾗｳﾝｼﾞ内とﾐｭｰｼﾞｱﾑ1階、2階にｱﾝｹｰﾄ用紙を置き利用者に任意で記入したものを回収。 回答者数：385名（展望ﾗｳﾝｼﾞ /80名　ﾐｭｰｼﾞｱﾑ内/305名）		
結果概要	**[年齢]** 10代(10歳未満含む)：193名、20～30代：68名、40～50代：89名、60代以上：33名、不明・無記入：2名 **[来場回数]** 初めて：299名、2回：50名、3～5回：23名、6回以上：8名、不明・無記入：5名 **[地域]** 市内：140名、道内：39名、道外：177名、海外：10名、不明・無記入：19名 **[接客]** 大変良い：435票、良い：223票、ふつう：141票、やや悪い：15票、悪い：1票 接客満足度98% [（大変良い435+良い223）÷（全体815−ふつう141）=0.976] **[施設を知ったきっかけ]** ﾃﾚﾋﾞ・ﾗｼﾞｵ等：35名、新聞・観光誌：73名紹介：71名、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ：59名、旅行会社：20名、その他117名 **[次回の来場]** 是非利用したい：195名、機会があれば：153名利用しない：21名、不明：16名 **[総合満足度]**大満足：201名、満足：98名、ふつう：43名やや不満：12名、不満：4名 総合満足度95% [（大満足201+満足98）÷（全体358−ふつう43）=0.949]		
利用者からの意見・要望とその対応	**[要望]**外の喫煙所をなくして全面禁煙にしてください。 **[対応]**オリンピック施設として、多数の児童、生徒も訪れることから、平成31年1月1日から施設内全面禁煙といたしました。 **[その他意見]** ・ジャンプ台の高さを体験でき驚きでした。 ・札幌市内が一望できて観光の記念になった。 ・カーリングの体験コーナーを作ってほしいです。 ・顔出し看板がもっとほしい。（色々なタイプの） ・直接シャトルバスがあればよかったです。 ・VRを使ったｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ機器を導入して欲しい。		

4 収支状況

▽ 収支 （千円･税抜）

項目	H30計画	H30決算	差
収入	216,118	218,655	2,537
指定管理業務収入	213,008	215,808	2,800
指定管理費	154,440	156,654	2,214
利用料金	58,568	59,154	586
その他	0	0	0
自主事業収入	3,110	2,847	▲ 263
支出	240,679	222,939	▲ 17,740
指定管理業務支出	228,851	216,894	▲ 11,957
自主事業支出	11,828	6,045	▲ 5,783
営業外収入	1,112	1,586	474
営業外支出	0	6	6
収入−支出	▲ 23,449	▲ 2,704	20,745
利益還元	0	0	0
法人税等	0	0	0
純利益	▲ 23,449	▲ 2,704	20,745

▽ 説明

・収入については、ﾐｭｰｼﾞｱﾑ入館の入館者数増により利用料金収入が微増し、計画を上回る決算となった。また、指定管理費についても、休業補償（ﾗﾝﾃﾞｨﾝｸﾞﾊﾞｰﾝ工事、地震等）に伴う協定改定により、増額となっている。
・支出については、計画と比較し大幅に減少した、要因として指定管理業務については計画で予定していた人員の採用が進まなかったことによる人件費の削減及び経費削減に努めた結果、大幅な減額となった。自主事業についても今年度は多数ｲﾍﾞﾝﾄの実施を予定していたが、ｼﾞｬﾝﾌﾟ台の改修工事や地震の影響により実施ができず、その分の経費が削減される結果となった。
・結果、純利益としては、**▲2,704千円（税抜）**の決算額となった。
※上記決算には、NTC受託事業は含めないものとする。

H30年度の決算については、収入については休業補償等による微増であったが、予定していた人員の採用が進まなかった他、ｲﾍﾞﾝﾄについても工事や地震の影響により実施できなかったことで費用が大幅に減少した結果、計画と比較し、大幅に赤字額が縮小される結果となった。
今後については、ﾐｭｰｼﾞｱﾑの一部ﾘﾆｭｰｱﾙも予定していることから、ﾐｭｰｼﾞｱﾑを有効活用した展示会等を積極的に行い、施設全体のPR活動を強化していくと共に、来場者に楽しんでいただけいるような新規イベントの実施等にも取り組んで参ります。経費の削減についても引き続き注力し、安定した運営を目指す。

A	**B**	C	D

オリンピックミュージアムの利用者増に努めた結果、計画を上回る収入を確保している。また、効率的な人員配置によって人件費を圧縮し、計画より収支が改善している。

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

引き続き管理運営業務の遂行のため、業務内容の見直し･適正人員の配置や経費節減に努め、安定した維持管理業務を行っている。

適	不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例及びオンブズマン条例への対応

各条例の規則に則り、全てに適切に対応した。
情報公開請求並びに、オンブズマン条例への対応はなかった。

適	不適

Ⅲ　総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
ジャンプ競技場としての運営に関して、H30年度はｼﾞｬﾝﾌﾟ台の改修工事や北海道胆振東部地震の影響の中 、ﾐｭｰｼﾞｱﾑの増収や経費の削減に努めたことで、計画と比較し赤字幅も縮小されたことから業績としては検討した結果と判断される。 ミュージアムについては、昨年度に引き続き平昌オリンピックに関するイベントや展示のPRを積極的に行い施設の来館者増に繋げた他、オリンピック・パラリンピック教育が昨年度から15校増えた45校の小学校の受入れを行い、各学校から好評価受けた。また地下歩行空間では出張ミュージアムとしてパネル展示や映像上映を行い、広報宣伝活動を実施した。 自主事業としては、平成20年度より実施しているウィンタースポーツフェスタin大倉山やをはじめ、SapporoCityJazz協賛ライブを開催した。また貸館業務ではあるがレッドブル400大型イベントの他、山頂展望台スタート地点の開放や大倉山が日本夜景遺産に認定されたこともあり、夜間営業の実施と併せて夜景観賞士の解説案内もする等、大倉山の新たな魅力の発信に努めた。	ジャンプ競技場としての運営に関しては、競技団体や利用者からの要望を踏まえた運営体制を実施し、競技力向上と競技人口の拡大に向けた環境整備を図っていきたい。 ミュージアムについては、平成31年度オープン予定の日本オリンピックミュージアム、長野オリンピックミュージアムとともに、オリンピックミュージアムネットワークを活用し、情報共有を積極的に行いながら、オリンピック招致の機運醸成となるようイベントの実施等に取り組んで参ります。またオリンピック・パラリンピック教育についてはH31年度は前年度より16校増えた61校の受入を行う予定となっている為、引き続きオリンピアン・パラリンピアンと連携し授業の内容を充実させる他、オリンピアン・パラリンピアンとの関係性をより拡充し、今後のミュージアム独自のイベント開催にも繋げて参りたい。 今後においても、施設の設置目的である「ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上」を念頭に施設の運営管理を行うとともに、札幌市を代表する観光施設として、更なる魅力PRに努めていきたい。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
指定管理者としてのこれまでの実績と経験を活かし、計画に基づいた管理運営業務を行っている。 ジャンプ競技場としての運営に関しては、FIS公認のジャンプ台として求められる高い水準での維持管理のほか、NTC競技別強化拠点施設として選手の積極的な受け入れを行うだけでなく、競技団体や利用者からの要望を踏まえた運営体制を実施するなど、競技力向上と競技人口の拡大に向けた環境整備に尽力したものと評価できる。 ミュージアムについては、平昌オリンピック・パラリンピックを契機とし、来場者の増加に繋げるなど、施設の魅力を伝え、オリンピックミュージアムネットワークの教育ワーキンググループにも参加し、オリンピック・パラリンピック教育に積極的に取り組んでいる。 また、自主事業についても、ウィンタースポーツフェスタin大倉山を継続して開催しているほか、新たなイベントを誘致するなど、年間を通して施設の魅力発信を図り、観光資源としての施設活用にも力を入れている。 今後においても、施設の設置目的である「ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上」及び「オリンピック・パラリンピックの理念を広く伝え、ウィンタースポーツの普及振興に寄与する」ことを念頭に施設の運営管理を行うとともに、本市を代表する観光施設として、更なる魅力PRに努めていただくよう期待する。	本年度において、特に改善指導・指示を必要とする事項はなかった。

平成30年度管理運営業務に係る業務の再委託

別紙 1

再委託業務内容	業務の場所
夜間常駐警備業務	大倉山ジャンプ競技場
夜間巡回警備業務	宮の森ジャンプ競技場
機械警備業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
定期清掃	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山ジャンプ競技場 札幌オリンピックミュージアム
硝子定期清掃	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
塵芥収集業務（産廃ごみ）	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
塵芥収集業務（資源ごみ）	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
消防設備点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
設備管理業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
自動ドア点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
エレベーター点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
エスカレーター点検業務	大倉山ジャンプ競技場
雪張ネット着脱業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山シャンツェ
大型映像車保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場
大型映像車運行管理業務	大倉山ジャンプ競技場
スロープカー保守点検業務	荒井山シャンツェ
リフト保守管理業務	宮の森ジャンプ競技場
バイオトイレ保守点検業務	宮の森ジャンプ競技場 （スタートハウス、審判塔）
シアター映像装置保守点検業務	札幌オリンピックミュージアム
電光掲示盤保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場
ジャンプ台の基本造成整備業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山シャンツェ
インラン整備機保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場
人工降雪機器保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場
圧雪車（プリノート他）保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場
除雪車（ホイルローダー）保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場
除排雪業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山シャンツェ、 札幌オリンピックミュージアム
収蔵品データシステム保守業務	札幌オリンピックミュージアム
展示演出定期保守点検業務	札幌オリンピックミュージアム

平成30年度ミュージアム調査研究事業

別紙 2

1 自主研修の場の提供

平成30年度内に小・中・高等学校・養護学校合わせて448校が来館しました。
（小学校235校、中学校113校、高等学校59校、養護学校41校）

2 教育普及活動（特別展示会・イベント等）

①	ピョンチャンオリンピック＆パラリンピック2018・報道写真展	観覧人数	70,195
②	バイアスロン体験in大倉山	観覧人数	902
③	阿部名誉館長のバックヤードツアー＆トークショー	観覧人数	96
④	大倉山・宮の森ジャンプ競技場往復ノルディックウォーキング	参加人数	39
⑤	オリンピック・デー	参加人数	403
		※人数は述べ人数です。 ※内訳は以下の通りです。 トークショー75名、フロアーカーリング328名	
⑥	東京2020オリンピック・パラリンピック開催2年前記念イベント「オリンピックが北の大地にやってくる！【Tokyo 2020 2 Years to Go!】」 ※札幌市スポーツ局との共催。会場は札幌市地下歩行空間。	参加人数	400
⑦	カーリングデー2018 in おおくらやま	参加人数	767
		※人数は述べ人数です。 ※内訳は以下の通りです。 テーブルカーリング304名、フロアーカーリング322名、テーブルカーリング大会16名、スピードスケート鈴木氏コーナー125名	
⑧	夏休み・マスコットキャラクター・ワークショップ	参加人数	47
⑨	大倉山小学校作品展示会	参加人数	15,299
⑩	サッポロスマイル「魅力体験！発見！発信！ツアー～冬のスポーツ～」	観覧人数	45
⑪	三角山小学校作品展示会	観覧人数	6,806
⑫	冬季オリンピックマップ・ワークショップ	参加人数	24
⑬	特別展「オリンピックのころのSAPPORO」	観覧人数	16,526
⑭	ウィンタースポーツフェスタ・バックヤードツアー	観覧人数	51
⑮	虹と雪のバラード表彰式及びアレンジバージョンのお披露目イベント ※札幌市スポーツ局との共催。会場は札幌市地下歩行空間。	参加人数	100

３ 常設展示

2階と1階のオリンピアンの用具の追加と入れ替えを行っています。（2階・ロコ・ソラーレのユニフォーム追加、1階・アイスホッケー女子日本代表コーナー作成など）

４ 校外学習

① 大学関係・・・4校
（東海大学、北海道科学大学、札幌国際大学、明治大学）

② 高校関係・・・0校

③ 中学校関係・・・7校
（札幌市立厚別北中学校、美唄市立美唄中学校、蘭越町立蘭越中学校　等）

④ 小学校関係・・・49校(オリンピック・パラリンピック教育…45校、その他4校）
（オリンピック・パラリンピック教育…札幌市立澄川小学校、札幌市立平岸小学校、札幌市立前田中央小学校等、その他の来館…旭川市立神居東小学校、平取町立平取小学校　等）

⑤ 実習等・・・2校
（職場体験：札幌市立宮の森中学校、博物館実習：北海道教育大学）

５ 収蔵品データベース化

展示物・収蔵品の調査データを登録中（平成30年度　84件・122点登録、登録累計　14,071件・総数量39,123点）

６ 収蔵品の収集・調査・研究・展示

冬季オリンピック札幌大会関連資料の収集および調査・研究
オリンピアンの用具収集・展示（ロコ・ソラーレ、足立友里恵さん、藤本那菜さん等）

平成30年度ジャンプ競技場等使用実績
（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

別紙 3

※掲載金額は全て消費税込

1　札幌オリンピックミュージアム利用料金（使用料）関係

（1）観覧料　48,452,440 円

（2）多目的ホール　（単位：円）

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
		―	0
小計			0

（3）ライブラリー　（単位：円）

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
		―	0
小計			0

（4）エントランスホール　（単位：円）

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
		―	0
小計			0

（5）シアター　（単位：円）

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
		―	0
小計			0

札幌オリンピックミュージアム利用料金収入合計	48,452,440

２ 大倉山ジャンプ競技場利用料金（使用料）関係

（1）-1ジャンプ競技一般練習日　（単位：円）

利用月	日数	単価	利用料金収入	利用月	日数	単価	利用料金収入
４月	0	28,100	0	10月	0	28,100	0
５月	0	28,100	0	11月	5	28,100	140,500
６月	0	28,100	0	12月	0	28,100	0
７月	0	28,100	0	１月	6	28,100	168,600
８月	0	28,100	0	２月	4	28,100	112,400
９月	0	28,100	0	３月	4	28,100	112,400
				小計	19		533,900

（1）-2 ジャンプ競技一般練習日（自主事業利用分）　（単位：円）

利用月	日数	単価	利用料金収入	利用月	日数	単価	利用料金収入
7月	0	28,100	0	9月	0	28,100	0
8月	0	28,100	0	10月	0	28,100	0
				小計	0		0

（2）公式練習日　（単位：円）

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
11月1日	第19回札幌市長杯大倉山ジャンプ大会	10割減額	0
1月11日	FISｼﾞｬﾝﾌﾟﾜｰﾙﾄﾞｶｯﾌﾟ2019札幌大会	5割減額	14,050
1月18日	FISｺﾝﾁﾈﾝﾀﾙｶｯﾌﾟ2019	5割減額	14,050
1月25日	FISｼﾞｬﾝﾌﾟﾜｰﾙﾄﾞｶｯﾌﾟ2019札幌大会	5割減額	14,050
3月1日	札幌スキー連盟会長杯兼第30回TVh杯ジャンプ	―	14,050
3月9日	第90回宮様スキー大会国際競技会	10割減額	0
小計			56,200

（3）大会日　（単位：円）

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
11月2日	第19回札幌市長杯大倉山ジャンプ大会	10割減額	0
11月3日	第31回UHB杯ジャンプ大会	5割減額	45,850
11月4日	第60回NHK杯ジャンプ大会	5割減額	45,850
1月12日	FISｼﾞｬﾝﾌﾟﾜｰﾙﾄﾞｶｯﾌﾟﾚﾃﾞｨｰｽ2019札幌大会	5割減額	45,850
1月13日	FISｼﾞｬﾝﾌﾟﾜｰﾙﾄﾞｶｯﾌﾟﾚﾃﾞｨｰｽ2019札幌大会	5割減額	45,850
1月14日	第61回HBCｶｯﾌﾟ競技大会	5割減額	45,850
1月19日	第46回HTBｶｯﾌﾟ国際ｽｷｰｼﾞｬﾝﾌﾟ競技大会 FISｺﾝﾁﾈﾝﾀﾙｶｯﾌﾟ2019	5割減額	45,850
1月20日	第58回STVｶｯﾌﾟ国際ｽｷｰｼﾞｬﾝﾌﾟ競技大会 FISｺﾝﾁﾈﾝﾀﾙｶｯﾌﾟ2019	5割減額	45,850
1月26日	FISｼﾞｬﾝﾌﾟﾜｰﾙﾄﾞｶｯﾌﾟ2019札幌大会	5割減額	45,850
1月27日	FISｼﾞｬﾝﾌﾟﾜｰﾙﾄﾞｶｯﾌﾟ2019札幌大会	5割減額	45,850
3月2日	札幌スキー連盟会長杯兼第30回TVh杯ジャンプ	―	45,850
3月10日	第90回宮様スキー大会国際競技会	10割減額	0
小計			458,500

(4)-1イベント等　　（単位：円）

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
5月12日	Red Bull 400	―	216,900
小計			216,900

(4)-2イベント等　（自主事業利用分）　　（単位：円）

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
2月3日	ウィンタースポーツフェスタin大倉山	―	0
小計			0

(5)運営本部（会議室）　　（単位：円）

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
4月1日	ｼﾞｬﾝﾌﾟ少年団卒団式	―	5,460
4月13日・16日・17日	AED講習（自主使用）	―	8,190
4月17日・18日	全日本ｽｷｰｺｰﾁ会議	―	7,280
4月21日	ﾏﾝｼｮﾝの会議	―	910
4月27日	障がい者施設「椿の会」の休憩場所	―	2,730
5月11日	小原病院休憩場所	―	910
5月19日	全国新聞自動車連盟会議	―	910
6月2日	ﾆｺﾙｿﾒｯﾄ宮の森管理組合ﾏﾝｼｮﾝ会議	―	910
6月21日・22日	警備員現任教育(自主使用)	―	16,380
6月23日	ﾆｺﾙｿﾒｯﾄ宮の森管理組合ﾏﾝｼｮﾝ会議	―	1,820
8月29日	旭川市立第三小学校（休憩場所）	―	910
9月1日	長沼町教育委員会（休憩場所）	―	910
9月12日	リージョンズ社内会議	―	3,640
9月29日	ﾆｺﾙｿﾒｯﾄ宮の森管理組合ﾏﾝｼｮﾝ会議	―	910
9月30日	あゆみスイミングスクール（休憩場所）	―	910
10月20日	札幌市カメラ講座	―	4,550
12月6日・7日	警備員現任教育（自主使用）	―	14,560
12月22日	オリンピック選手ｲﾝﾀﾋﾞｭｰ	―	4,550
12月27日	W杯ジャンプ出場選手ｲﾝﾀﾋﾞｭｰ	―	3,640
1月9日	ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ選手ｲﾝﾀﾋﾞｭｰ	―	910
2月23日	ﾆｺﾙｿﾒｯﾄ宮の森管理組合ﾏﾝｼｮﾝ会議	―	910
3月13日	旬感ゴトーチNHK札幌放送局撮影場所	―	7,280
3月31日	札幌ジャンプスポーツ少年団 卒団式	―	5,460
小計			94,640

(6)観覧フィールド　　（単位：円）

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
		－	0
小計			0

(7)テレビ映像中継装置　　（単位：円）

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
11月3日	第31回UHB杯ｼﾞｬﾝﾌﾟ大会	―	197,000
11月4日	第60回NHK杯ジャンプ大会	―	197,000
1月12日	FISｼﾞｬﾝﾌﾟﾜｰﾙﾄﾞｶｯﾌﾟﾚﾃﾞｨｰｽ2019札幌大会	―	197,000
1月13日	FISｼﾞｬﾝﾌﾟﾜｰﾙﾄﾞｶｯﾌﾟﾚﾃﾞｨｰｽ2019札幌大会	―	197,000
1月14日	第60回HBCｶｯﾌﾟ競技大会	―	197,000
1月19日	第46回HTBｶｯﾌﾟ国際ｽｷｰｼﾞｬﾝﾌﾟ競技大会 FISｺﾝﾁﾈﾝﾀﾙｶｯﾌﾟ2019	―	197,000
1月20日	第58回STVｶｯﾌﾟ国際ｽｷｰｼﾞｬﾝﾌﾟ競技大会 FISｺﾝﾁﾈﾝﾀﾙｶｯﾌﾟ2019	―	197,000
1月26日	FISｼﾞｬﾝﾌﾟﾜｰﾙﾄﾞｶｯﾌﾟ2019札幌大会	―	197,000
1月27日	FISｼﾞｬﾝﾌﾟﾜｰﾙﾄﾞｶｯﾌﾟ2019札幌大会	―	197,000
3月2日	札幌スキー連盟会長杯兼第30回TVh杯ジャンプ	―	197,000
小計			1,970,000

大倉山ジャンプ競技場利用料金収入合計	3,330,140

３　宮の森ジャンプ競技場利用料金（使用料）関係

（1）ジャンプ競技一般練習日　（単位：円）

利用月	日数	単価	利用料金収入	利用月	日数	単価	利用料金収入
４月	0	28,100	0	１０月	16	28,100	449,600
５月	0	28,100	0	１１月	0	28,100	0
６月	13	28,100	365,300	１２月	0	28,100	0
７月	20	28,100	562,000	１月	1	28,100	28,100
８月	22	28,100	618,200	２月	9	28,100	252,900
９月	18	28,100	505,800	３月	3	28,100	84,300
				小計	102		2,866,200

（2）公式練習日　（単位：円）

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
8月3日	第36回札幌市長杯大倉山ｻﾏｰｼﾞｬﾝﾌﾟ大会及び 大倉山ﾁｬﾚﾝｼﾞｶｯﾌﾟ2018ｻﾏｰｼﾞｬﾝﾌﾟ大会	10割減額	0
1月4日	第59回雪印ﾒｸﾞﾐﾙｸ全日本ｼﾞｬﾝﾌﾟ大会	5割減額	14,050
2月14日	第74回国民体育大会冬季大会ｽｷｰ競技大会ﾉｰﾏﾙﾋﾙ	－	28,100
3月7日	第90回宮様大会スキー大会国際競技会ノーマルヒル	10割減額	0
3月8日	第90回宮様大会スキー大会国際競技会ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ	10割減額	0
3月11日	伊藤杯ノルディックコンバインド競技大会	－	14,050
3月22日	第20回伊藤杯シーズンファイナルナイタージャンプ大会 中止	－	0
小計			56,200

（3）大会日　（単位：円）

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
8月4日	第36回札幌市長杯大倉山ｻﾏｰｼﾞｬﾝﾌﾟ大会	10割減額	0
8月5日	大倉山ﾁｬﾚﾝｼﾞｶｯﾌﾟ2018ｻﾏｰｼﾞｬﾝﾌﾟ大会	5割減額	45,850
1月5日	第59回雪印ﾒｸﾞﾐﾙｸ全日本ｼﾞｬﾝﾌﾟ大会	5割減額	45,850
1月26日	第47回札幌ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ記念国際ｽｷｰｼﾞｬﾝﾌﾟ競技大会	10割減額	0
2月15日	第74回国民体育大会冬季大会ｽｷｰ競技大会ﾉｰﾏﾙﾋﾙ	－	28,100
2月16日	第74回国民体育大会冬季大会ｽｷｰ競技大会ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ	－	28,100
3月8日	第90回宮様大会スキー大会国際競技会ノーマル	10割減額	0
3月9日	第90回宮様大会スキー大会国際競技会ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ	10割減額	0
3月12日	伊藤杯ノルディックコンバインド競技大会	－	45,850
3月23日	第20回伊藤杯シーズンファイナルナイタージャンプ大会	－	45,850
小計			239,600

（4）イベント等　（単位：円）

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
2月13日	第74回国民体育大会冬季大会ｽｷｰ競技大会 準備の為	－	28100
小計			28,100

宮の森ジャンプ競技場利用料金収入合計	3,190,100

４　荒井山シャツェ利用状況

（1）ジャンプ競技一般練習日

利用月	日数	人数	利用月	日数	人数
４月	3	30	１０月	11	210
５月	22	481	１１月	2	27
６月	22	360	１２月	0	0
７月	23	320	１月	16	219
８月	29	407	２月	8	172
９月	17	365	３月	0	0
			小計	153	2,591

5　撮影利用料金（使用料）関係　　（単位：円）

利用日	撮影内容	場所	使用者等	減免割合	利用料金収入
4月16日	テレビ	ミュージ	北海道放送㈱ HBCﾃﾚﾋﾞ「今日ﾄﾞｷｯ!」ﾆｭｰｽ取材 ※報道の為免除	10割減額	0
4月25日	テレビ	ミュージ	共同通信編集委員「新聞社配信記事」の企画取材 ※報道の為免除	10割減額	0
5月3日	テレビ	ミュージ	北海道放送㈱HBCテレビ ﾊﾞｲｱｽﾛﾝ射撃GWｲﾍﾞﾝﾄﾆｭｰｽ取材※報道の為、免除	10割減額	0
5月4日	写真	大倉・ミュ	北海道新聞社 阿部名誉館長のﾊﾞｯｸﾔｰﾄﾞﾂｱｰ取材の為 ※報道の為、免除	10割減額	0
5月6日	テレビ	大倉	北海道テレビ放送 RED　BULL400企画取材	－	15,000
5月16日	テレビ	ミュージ	㈱ﾄﾘﾘｵﾝ ﾐｭｰｼﾞﾐｭｰｼﾞｱﾑ体験ｺｰﾅｰ撮影	－	15,000
6月23日	テレビ	ミュージ	北海道文化放送 「ｵﾘﾝﾋﾟｯｸﾃﾞｰ」ｲﾍﾞﾝﾄ取材　※報道の為、免除	10割減額	0
6月23日	テレビ	ミュージ	札幌テレビ放送 「ｵﾘﾝﾋﾟｯｸﾃﾞｰ」ｲﾍﾞﾝﾄ取材　※報道の為、免除	10割減額	0
6月23日	写真	ミュージ	北海道新聞社 「ｵﾘﾝﾋﾟｯｸﾃﾞｰ」ｲﾍﾞﾝﾄ取材　※報道の為、免除	10割減額	0
6月23日	テレビ	ミュージ	北海道放送 「ｵﾘﾝﾋﾟｯｸﾃﾞｰ」ｲﾍﾞﾝﾄ取材　※報道の為、免除	10割減額	0
6月28日	テレビ	大倉	北海道大学大学院 「観光ｶﾞｲﾄﾞ育成のためのﾃﾞｼﾞﾀﾙ教材の開発研究活動撮影」	－	15,000
6月28日	テレビ	大倉	㈱愛媛朝日テレビ 「番組撮影」　※報道の為、免除	10割減額	0
6月28日	テレビ	大倉	長野朝日放送 「番組撮影」　※報道の為、免除	10割減額	0
7月19日	テレビ	大倉	北海道テレビ放送 夜間営業内覧会の撮影　※報道の為免除	10割減額	0
7月25日	テレビ	大倉	札幌市　東京事務所 札幌市のPR動画の制作　※札幌市の為免除	10割減額	0
7月27日	テレビ	大倉	北海道建設新聞 夏休み親子土木施設見学ﾂｱｰ取材　※報道の為免除	10割減額	0
7月27日	写真	大倉	北海道通信社 夏休み親子土木施設見学ﾂｱｰ取材　※報道の為免除	10割減額	0
7月27日	テレビ	大倉	札幌映像プロダクション 夏休み親子土木施設見学ﾂｱｰ取材　※報道の為免除	10割減額	0
7月30日	写真	ミュージ	北海道新聞情報サービス 「週刊まなぶん」取材　※報道の為免除	10割減額	0
8月1日	テレビ	大倉	㈱インプロバイド WEBサイト「札幌夜景観光ガイド」の企画撮影 ※札幌市より減免申請有、免除	10割減額	0
8月4日	写真	大倉	北海道新聞社 札幌商工会議所主催夏休み探検ツアー取材 ※報道の為、免除	10割減額	0
8月20日	テレビ	大倉	HTB映像㈱ さっぽろ市民交流ﾌﾟﾗｻﾞｵｰﾌﾟﾆﾝｸﾞｾﾚﾓﾆｰ撮影 ※報道の為、免除	10割減額	0
8月30日	テレビ	大倉	テレビ金沢 『となりのテレ金ちゃん』取材撮影	－	15,000
9月5日	テレビ	大倉	HTB映像㈱ タイ・ミュアンマー国内での放送のTV番組取材	―	15,000
9月12日	写真	大倉	㈲さっぽろフォトライブ フリーペーパー（るるぶフリー）の表紙撮影	―	1,500
9月21日	テレビ	大倉	電通北海道 英・豪市場向け来札観光プロモーションに係る撮影 ※札幌市より減免依頼有	10割減額	0
10月1日	宮の森	写真	金井さとこ 「SUUMO注文住宅」編集記事掲載	－	1,500
10月15日	大倉山	テレビ	札幌テレビ放送 夜景撮影　※報道のため、免除	10割減額	0
10月17日	大倉山	テレビ	テレビ北海道 「ばっちり撮ったろう」番組撮影	－	15,000

10月21日	ミュージ	写真	中島和哉デザイン事務所 北海道新聞記事広告撮影　※報道のため、免除	10割減額	0
10月23日	大倉山	写真	㈱JTBｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ ラグビーワールドカップ（雑誌）への撮影	－	1,500
10月23日・24日 26日	大倉山	テレビ	毎日放送テレビ番組 「初耳学」撮影	－	47,050
10月24日	大倉山	テレビ	NHK徳島放送局 「阿波踊りの未来を考える」にて、札幌の祭り取材 ※報道のため、免除	10割減額	0
10月26日	大倉山	テレビ	㈱イー・シー・プロ eラーニングで使用する教材撮影の為の撮影	－	15,000
10月26日	大倉山	テレビ	北海道文化放送 みんスポサタデー取材　※報道のため、免除	10割減額	0
11月1日～3日	テレビ	大倉	北海道文化放送 第31回UHB杯ｼﾞｬﾝﾌﾟ大会ﾃﾚﾋﾞ中継	－	45,000
11月2日～4日	テレビ	大倉	NHK札幌放送局 第60回NHK杯ｼﾞｬﾝﾌﾟ大会テレビ中継	－	45,000
11月5日	テレビ	大倉	㈱ノースエレメンツ メキシコTV番組　札幌観光PR撮影	－	15,000
11月9日	テレビ	大倉	北海道文化放送 夜間営業取材　※報道の為、免除	10割減額	0
11月9日	テレビ	大倉	㈱アルファ・グリッド TV番組「東北魂」の撮影	－	15,000
11月13日	テレビ	大倉	㈱ネクサス TV番組「朝だ！生です　旅サラダ」の撮影	－	15,000
11月13日・15日	テレビ	大倉	NHK札幌放送局 ﾆｭｰｽ番組「ほっとﾆｭｰｽ北海道」の撮影 ※報道の為、免除	10割減額	0
11月28日	テレビ	大倉	札幌テレビ放送 台湾テレビ局「民視」の旅番組撮影	－	15,000
11月30日	テレビ	大倉	ﾃﾚﾋﾞｸﾘｴｲｼｮﾝｼﾞｬﾊﾟﾝ	－	15,000
12月11日	写真	大倉	㈱ﾌﾞﾚｲﾝ 日本政府観光局台湾向け情報Webサイト掲載	－	15,000
12月11日	写真	ミュージ	ﾗｲﾀｰ悦永弘美 JTB発行「北海道図鑑」掲載時のｲﾗｽﾄ描起こし用資料写真撮影	－	1,500
12月22日	写真	ミュージ	イーカムワークス㈱ サッポロスマイル魅力体験！発見！発信！ツアー取材 ※報道の為、免除	10割減額	0
12月22日	テレビ	ミュージ	㈱ﾃﾚﾋﾞ北海道 サッポロスマイル魅力体験！発見！発信！ツアー取材 ※報道の為、免除	10割減額	0
12月22日	写真	ミュージ	北海道新聞社 サッポロスマイル魅力体験！発見！発信！ツアー取材 ※報道の為、免除	10割減額	0
1月4日・5日	テレビ	宮の森	北海道放送㈱ 第60回雪印ﾒｸﾞﾐﾙｸ杯ﾃﾚﾋﾞ中継	－	30,000
1月10日～12日	テレビ	大倉山	NHK札幌放送局 FISワールドカップジャンプレディーステレビ中継	－	45,000
1月11日～13日	テレビ	大倉山	STV札幌テレビ放送 FISワールドカップジャンプレディーステレビ中継	－	45,000
1月13日・14日	テレビ	大倉山	北海道放送 2019HBCカップジャンプ大会撮影	－	30,000
1月14日	写真	大倉山	イーカムワークス㈱ サッポロスマイル魅力体験！発見！発信！ツアー取材 ※報道の為免除	10割減額	0
1月14日	写真	大倉山	北海道情報サービス サッポロスマイル魅力体験！発見！発信！ツアー取材 ※報道の為免除	10割減額	0
1月14日	写真	大倉山	ぶらんとマガジン社 サッポロスマイル魅力体験！発見！発信！ツアー取材 ※報道の為免除	10割減額	0
1月14日	テレビ	大倉山	北海道放送 サッポロスマイル魅力体験！発見！発信！ツアー取材 ※報道の為免除	10割減額	0
1月19日	テレビ	大倉山	HTB北海道放送 第16回HTBｶｯﾌﾟ国際ｽｷｰｼﾞｬﾝﾌﾟ競技大会テレビ中継	－	15,000
1月18日～20日	テレビ	大倉山	札幌テレビ放送 第58回STVカップ国際スキージャンプ競技大会		45,000
1月24日～26日	テレビ	大倉山	NHK札幌放送局 ワールドカップ男子ジャンプ大会撮影	－	45,000

1月25日～27日	テレビ	大倉山	STV札幌テレビ放送 ワールドカップ男子ジャンプ大会撮影	－	45,000
2月1日	テレビ	大倉	電通北海道 第74回国民体育大会冬季スキー競技会 応援ﾒｯｾｰｼﾞ制作	－	15,000
2月1日	写真	ミュージ	北海道新聞社 ﾐｭｰｼﾞｱﾑ特別展の取材　※報道の為、免除	10割減額	0
2月7日	テレビ	大倉	札幌テレビ放送 STV『見たい！知りたい！北海道』番組撮影の為	－	15,000
2月8日	テレビ	ミュージ	読売新聞社東京本社 ﾐｭｰｼﾞｱﾑ特別展の取材　※報道の為、免除	10割減額	0
2月10日	テレビ	大倉	北海道放送 ますおか・こじるりベタな旅人撮影	－	15,000
2月12日～16日	テレビ	宮の森	㈱ﾃﾞｨ・ｺﾝﾌﾟﾚｯｸｽ ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞ『ﾐﾗｲﾓﾝｽﾀｰ』番組撮影	－	75,000
2月22日	テレビ	大倉	㈱ﾌﾟﾗﾆﾝｸﾞ・ﾎｯｺｰ 中国ﾃﾚﾋﾞ局による札幌市観光PR	－	15,000
3月1日・2日	テレビ	大倉	㈱ﾃﾚﾋﾞ北海道 札幌ｽｷｰ連盟会長杯兼第30回TVh杯ﾃﾚﾋﾞ中継	－	30,000
3月4日	テレビ	ミュージ	ジェイコム北海道 特別展取材	10割減額	0
3月13日	写真	ミュージ	読売新聞社 新聞取材	10割減額	0
3月13日	テレビ	大倉	NHK札幌放送局 旬感ゴトーチ撮影	－	30,000
3月31日	テレビ	大倉	茂野美咲選手 イベント用撮影	－	15,000
計					848,050

６　大型映像車利用料金（使用料）関係　　（単位：円）

利用日	行　事　名	減免割合	利用料金収入
5月6日	平昌ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ・ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸどさんこ選手を讃える会実行委員会 「平昌ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ・ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸどさんこ選手を讃える会」	－	188,340
5月12日	ﾚｯﾄﾞﾌﾞﾙｼﾞｬﾊﾟﾝ㈱ 「Red Bull400 SAPPORO OKURAYAMA」	－	90,400
5月21日～23日	東日本電信電話㈱　北海道事業部 「NTT北海道ｸﾞﾙｰﾌﾟ防災演習」	―	597,264
6月9・10・11日	第27回YOSAKOIソーラン祭り 「YOSAKOIソーラン祭り組織委員会」	―	727,080
6月19日	第1回高島旅館ビアフェスト 「いわない温泉高島旅館」	―	296,090
6月16・17日	石狩川水系豊平川総合防水演習 「北海道開発局札幌開発建設部河川管理課」	―	442,380
6月23日	恵庭花とくらし展・えにわマルシェ 「恵庭花のまちづくり推進会議」	―	265,840
6月24日	きたひろしま30kmロードレース　パブリックビューイング 「㈱オーテック」	―	210,880
6月30日	エア・ウォーターグループ総合防災訓練 「エア・ウォーター・テクノサプライ㈱」	―	217,120
7月14日	第23回むらもと祭り 「㈱めもるﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ」	－	241,750
7月21日	第46回全道消防救助技術訓練指導会 「一般財団法人全国消防協会北海道地区本部」	－	232,140
8月4日・5日	当別スウェーデンマラソン 「㈱メガ・コミュニケーションズ」	－	400,110
8月25日	日清食品　ﾗｰﾒﾝ記念日ﾌｪｽﾀ2018in千歳工場 「ﾌﾞﾛｽ㈱」	―	582,130
8月26日	北海道ﾏﾗｿﾝ2018 「北海道ﾏﾗｿﾝ2018組織委員会」	－	216,810

9月2日・9月3日	平成30年度札幌市総合防災訓練 札幌市手稲区総務企画課	5割減額	163,150
9月11日・9月12日	宮坂建設工業㈱ 地域住民参加型防災訓練	－	563,560
10月10日	平成30年北海道警察視閲式 北海道警察	－	116,070
11月2日	第19回札幌市長杯大倉山ｻﾏｰｼﾞｬﾝﾌﾟ大会	10割減額	0
11月3日	第31回UHB杯ｼﾞｬﾝﾌﾟ大会	―	39,060
11月4日	第60回NHK杯ｼﾞｬﾝﾌﾟ大会	―	39,060
11月15日～19日	2018/19ISUﾜｰﾙﾄﾞｶｯﾌﾟｽﾋﾟｰﾄﾞｽｹｰﾄ競技会帯広大会 札幌市	5割減額	553,570
1月4日・5日	第60回雪印ﾒｸﾞﾐﾙｸ杯全日本ｼﾞｬﾝﾌﾟ大会	―	78,120
1月12日	FISｼﾞｬﾝﾌﾟﾜｰﾙﾄﾞｶｯﾌﾟﾚﾃﾞｨｰｽ2019札幌大会	―	31,000
1月13日	FISｼﾞｬﾝﾌﾟﾜｰﾙﾄﾞｶｯﾌﾟﾚﾃﾞｨｰｽ2019札幌大会	―	32,860
1月14日	第60回HBCｶｯﾌﾟ競技大会		39,060
1月19日	第46回HTBｶｯﾌﾟ国際ｽｷｰｼﾞｬﾝﾌﾟ競技大会 FISｺﾝﾁﾈﾝﾀﾙｶｯﾌﾟ2019	―	39,060
1月20日	第58回STVｶｯﾌﾟ国際ｽｷｰｼﾞｬﾝﾌﾟ競技大会 FISｺﾝﾁﾈﾝﾀﾙｶｯﾌﾟ2019	―	39,060
1月26日	FISｼﾞｬﾝﾌﾟﾜｰﾙﾄﾞｶｯﾌﾟ2019札幌大会	―	31,000
1月27日	FISｼﾞｬﾝﾌﾟﾜｰﾙﾄﾞｶｯﾌﾟ2019札幌大会	―	32,860
2月2日・3日	第39回札幌国際ｽｷｰﾏﾗｿﾝ大会 札幌市	10割減額	0
3月2日	札幌スキー連盟会長杯兼第30回TVh杯ジャンプ大会	―	31,000
3月11日～17日	coop2019ﾜｰﾙﾄﾞﾊﾟﾗﾉﾙﾃﾞｨｯｸﾜｰﾙﾄﾞｶｯﾌﾟ特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟	－	1,126,700
計			7,663,524

大型映像車利用料金収入合計		7,663,524
内訳	場内（ジャンプ）	1,076,110
	場内（その他）	0
	競技場以外	6,587,414

平成30年度　集客イベント実績

別紙　4

①　山頂展望台スタート地点の開放

普段は入ることが出来ない山頂展望台のジャンプ台スタート地点を一般開放し、国際大会の会場となるラージヒルジャンプ台の迫力とジャンプ選手の気分を来場者の方々に体験して頂いた。

1．内容　　ジャンプ台のスタート地点を開放し、ジャンプ台からの眺望とジャンプ選手の気分を体験してもらう。
※当社職員がガイドとして常駐し、来場者の方へ施設概要等の説明をした。

2．期間　　(1)平成30年 4月28日(土)～ 5月 6日(日)　　10:00～14:00
(2)平成30年 7月27日(木)～ 8月2日(土)　　18:00～21:00
(3)平成30年 8月10日(月)～ 8月15日(月)　　18:00～21:00

---

②　SAPPORO CITY JAZZ 協賛ライブ

札幌代表する夏の大型イベントである「SAPPORO CITY JAZZ 2018」の公式プログラム「パークジャズライブ」の会場として競技場を活用し、ジャズライブを行うことで施設の魅力発信に努めた。

1．内容　　(1)道内で活躍するミュージシャンによる屋外ライブ
(2)演奏者は両日で12組出演
(4)観覧は無料とした。

2．期間　　(1)平成30年7月14日(土)　11:00～15:35
(2)平成30年7月15日(日)　11:00～15:05

---

③　展望台リフト特別夜間営業

日本新三大夜景に認定されている札幌の夜景を大倉山山頂からも楽しんでもらうべく、期間限定で展望台リフトの特別夜間営業を実施した。なお、この期間の中で、スタート台の開放や夜景鑑賞士によるジャンプ台と夜景の解説を行うといった新たな取組みも実施した。

1．内容　　大倉山展望台リフト特別夜間営業
※スタート台開放も併せて実施。詳細は『①山頂展望台スタート地点の開放』参照。

2．期間　　(1)平成30年 7月27日(木)～ 8月2日(土)　　18:00～21:00
(2)平成30年 8月10日(月)～ 8月15日(月)　　18:00～21:00
(3)平成30年11月9日、10日、16日、17日　　17:00～21:00

3．利用者数　(1)392名
(2)424名
(3)295名

---

④　「ウィンタースポーツフェスタin大倉山」の実施

さっぽろ雪まつり開催にあわせ市民及び観光客へジャンプ台を活用した様々な体験を通して「冬の北海道」の楽しみ方とウィンタースポーツへの関心と普及に努め、さらに地域振興や大倉山施設の周知と情報発信を目的とし札幌市中央区と共催した。
ウィンタースポーツ各種の体験などを、北翔大学・札幌聖心女子学院高等学校・町内会などボランティアの協力を得て実施。

1．内容　　(1) チューブすべり(ﾗﾝﾃﾞｨﾝｸﾞﾊﾞｰﾝを使ってのﾁｭｰﾌﾞ滑り体験。小学校高学年以上の一般ｺｰｽと親子で乗れる子供用コースの2コースを設置)
(2) Satz階段ツアー(普段入ることの出来ないジャンプ台横の階段を徒歩でる。)
(3) バックヤードツアー(普段入ることの出来ないジャンプ台・本部棟内をガイドを付けて見学する)
(4) ウィンタースポーツ体験コーナー(ゴルポッカ体験)
(5) そり遊び(ブレーキングトラックを数種類のそりで滑る)
(6)札幌市こども会育成連合会中央区支部PRコーナー
(7) こどもボブスレー体験コーナー
(8) 道産子乗馬、ポニーふれあい体験コーナー
(9) スープ無料配布

2．期間　　平成30年2月3日(日)　9:30～15:00

3．来場者数　1,917名

平成30年度年間行事（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

企画名	開催時期	内容	備考	開催場所
ピョンチャンオリンピック＆パラリンピック2018・報道写真展	4月28日～9月30日	平昌オリンピックの日本人選手活躍シーンを中心とした写真展示。	主催：株式会社フォートキシモト、共催：札幌オリンピックミュージアム（株式会社札幌振興公社）	ミュージアム1階企画展示コーナー
バイアスロン体験in大倉山	5月3日～5月5日	バイアスロン競技の射撃を、専用のシミュレーターを使用して体験。	一般社団法人日本バイアスロン連盟の協力を頂き開催	ミュージアム1階シアター前
阿部名誉館長のバックヤードツアー＆トークショー	5月4日	阿部名誉館長による競技場のバックヤードツアーとメダル獲得までの道のりを紹介するトークショー。		バックヤードツアー：運営本部棟 トークショー：ミュージアム1階シアター
大倉山・宮の森ジャンプ競技場往復ノルディックウォーキング	6月2日・8月4日・10月20日	ノルディックウォーキングで大倉山と宮の森の2つのジャンプ台を往復。	公益財団法人北海道健康づくり財団の協力により開催。 8月25日にも予定していたが悪天候により中止。	ミュージアム3階多目的ホールに集合・出発。宮の森ジャンプ競技場を経由して大倉山ジャンプ競技場に戻るルート
オリンピック・デー	6月23日	IOC創立を祝うイベント。ロコ・ソラーレの本橋麻里さんをゲストにお招きし、トークショーとフロアーカーリングの講習を開催。		ミュージアム1階シアターおよびシアター前
東京2020オリンピック・パラリンピック開催2年前記念イベント「オリンピックが北の大地にやってくる！【Tokyo 2020 2 Years to Go!】」	7月24日	東京2020のパネル展示や、オリンピアンによるトークショーを開催。	会場に学芸員を派遣し、オリンピックの映像等を上映。 市スポーツ局・招致推進部との共催。	札幌市地下歩行空間
カーリングデー2018 in おおくらやま	8月11日	北海道銀行フォルティウスと参加者が2人1組でチームを結成し、ミニカーリングのトーナメントを開催。フロアーカーリングとテーブルカーリングの体験も実施。	北海道カーリング協会の協力を頂き開催	ミュージアム1階シアター前
夏休み・マスコットキャラクター・ワークショップ	8月5日・8月12日・8月19日	小学生を対象に、札幌でふたたびオリンピック・パラリンピックが開催されるとしたら、どんなマスコットキャラクターが良いか？をテーマにキャラクターを考えていただくワークショップ。		ミュージアム1階シアター前
大倉山小学校作品展示会	7月26日～8月19日	大倉山小学校2年生が授業で作成した絵画を展示。		ミュージアム3階多目的ホール
サッポロスマイル「魅力体験！発見！発信！ツアー～冬のスポーツ～」	12月22日	ジャンプ元日本代表の斉藤浩哉さんが、ジャンプ台の施設内をご案内しながら、冬のスポーツの魅力について見て、触れて、発見していただく企画。	主催：札幌市 協力：株式会社札幌振興公社・公益財団法人札幌スキー連盟	大倉山ジャンプ競技場内とミュージアム1階シアター
三角山小学校作品展示会	12月25日～1月19日	三角山小学校2年生と6年生が授業で作成した作品を展示。		ミュージアム3階多目的ホール
冬季オリンピックマップ・ワークショップ	1月5日・1月12日・1月19日	小学生を対象に、館内展示を調べて冬季オリンピックが開催された場所を地図に書き込んでいただくワークショップ。		ミュージアム2階・ライブラリー
特別展「オリンピックのころのSAPPORO」	2月1日～3月31日	1972年の札幌オリンピックを、当館の所蔵品や写真などでふり返る企画。	会期中の土日祝日に、シアターでの特別上映会あり。	ミュージアム1階企画展示コーナー
ウィンタースポーツフェスタ・バックヤードツアー	2月3日	運営本部棟の実況室やトレーニングルームを案内。		競技運営本部棟
虹と雪のバラード表彰式及びアレンジバージョンのお披露目イベント	3月17日	札幌オリンピックのテーマ曲「虹と雪のバラード」のアレンジコンテストで最優秀賞に輝いたグループによるアレンジバージョンのお披露目。	会場に学芸員を派遣し、オリンピックの映像等を上映。 市スポーツ局・招致推進部との共催。	札幌市地下歩行空間